Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

万博記念公園の運営の現状と将来ビジョン

独立行政法人日本万国博覧会記念機構

EXPO'70

2008.10

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■博覧会前から現在まで

博覧会開催前

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■博覧会前から現在まで

1970年（会期中）

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■博覧会前から現在まで

1971年（博覧会終了後撤去）

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■博覧会前から現在まで

2006年

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■公園施設の概要

■国と大阪府から出資された万博跡地（約260ha）を「緑に包まれた文化公園」として整備・運営

日本庭園 （26ha）		博覧会の政府出展施設として日本の造園技術の粋を集めて造られた昭和の名園
自然文化園 （99ha）		公園の西側から森、里、水辺、遊びの空間の演出 自立した森再生事業を実施
	自然観察学習館	森づくりの成果、万博記念公園に生息する生物の実物やパネル展示、四季折々の自然体験行事、自然観察会、工作教室をボランティアの協力のもと運営
文化施設 （8ha）	国立民族学博物館	1977年開館 民族学･文化人類学の調査研究と展示公開
	大阪日本民芸館	1972年再開 生活に密着した新古の民芸品を展示
	大阪府立国際児童文学館	1984年開館 子どもの本等児童文学に関する国際的、総合的な資料研究情報センター
スポーツ施設 （70ha）		敷地の外周に位置し、博覧会終了後順次整備公開 ガンバ大阪のホームスタジアムとなっている万博記念競技場をはじめ、野球場、テニスコート、フットサルコート、アメリカンフットボール球技場、サッカーコートなどがある。
レクリエーション施設（57ha）		エキスポランド、パークゴルフ　など

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

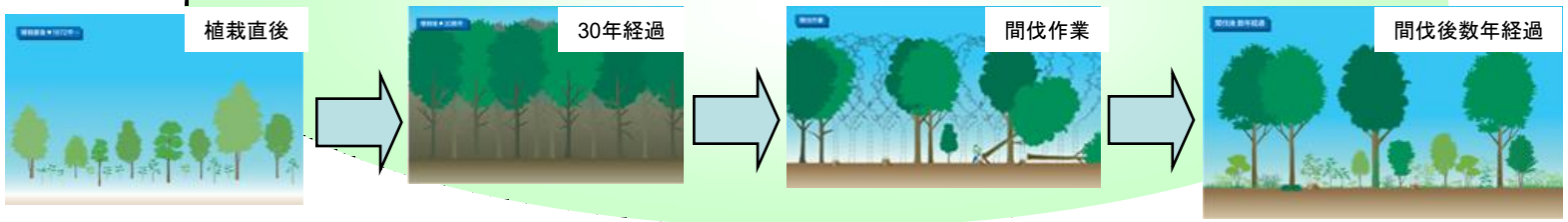
■自立した森づくり等への取組

・自立した森づくりの間伐作業

パビリオン等を撤去した広大な会場跡地の人工地盤の上に、約60万本の樹木等を植栽し、動植物を含む自然の森の生態系再生に取り組む。

ギャップ

自然の森再生対象面積約30ha



間伐によって光環境を改善し、多様な動植物が生息する自然の森を形成

・林縁地の放任管理

樹林地と芝生地との間に放任管理の草地をつくり、多様な生物が生息できる環境を創出する。

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■自立した森づくり等への取組

・多様な生物が生息できる環境

野鳥69種、昆虫182種、両生・ハ虫類12種、魚類・底生生物26種など様々な生物が定着し生息している。（2007年度実績）

オオタカ

カルガモ

・稀少生物の育成

絶滅危惧種等稀少生物の保護、育成

カスミサンショウウオ

イタセンパラ
（天然記念物）

モリアオガエル

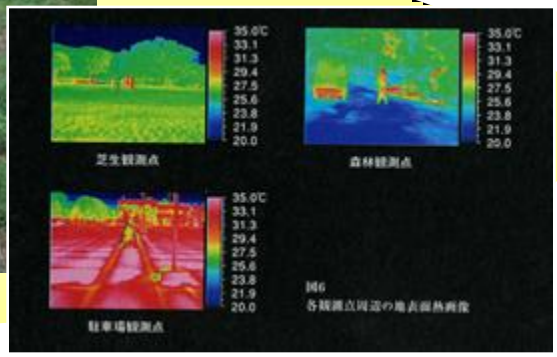
Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■自立した森づくり等への取組

・森が持つヒートアイランド抑制効果－－－CO_2削減効果調査

【大阪大学と連携】
気温測定、熱環境の調査分析

【京都大学と連携】
森林のCO_2吸収能力の測定分析



・森を活用した次世代型統合医療の取組

【京都府立医科大学、京都大学、高槻赤十字病院と共同】

〇森林セラピーなどによる健康増進や体力強化プログラムの作成

〇リハビリや予防医学に貢献する場の提供や施設整備

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■環境保全への取組

人と自然との共生を目指した緑豊かな万博記念公園において、省エネルギー、バイオマスの活用など環境保全に取り組む。

ソーラーパネル

幅270mのソーラーパネルによる発電能力実証試験

国内の公園では最大級　最大発電能力200kw

2007年度年間発電電力量230,548.6kwh
公園全体の消費電力の約1.7%を賄っている。
（CO_2削減量87t）

スターリングエンジン

木質バイオマス有効活用実証試験

小規模のものとしては国内初。
園内で発生した木質バイオマスをボイラーで燃焼し、その熱を足湯として利用するほか、スターリングエンジンを駆動させ発電。

園内の流れや散水に井水や雨水を活用

井水用揚水ポンプ

流れ

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■環境保全への取組

人と自然との共生を目指した緑豊かな万博記念公園において、廃棄物の縮減、リサイクルの推進、省資源など環境保全に取り組む。

3Rの取組

ゴミを出さない　リデュース

リターナブル食器

園内イベントの開催等にあわせ、食器の再利用の取組を実施

（07年実績）4,414個

食器回収時の残飯は堆肥化

再利用　リユース

リユースマーケット

エコフェスタ（環境イベント）を通じて広く環境問題への意識向上を図る

- 毎年11月頃に実施
- 地方公共団体や民間企業の環境への取組を紹介
- NPOの活動も含め園内で実施している環境活動の紹介
- 参加体験型エコプログラムの実施

再資源化　リサイクル

堆肥化

園内で発生する間伐材や剪定枝などをチップ化、堆肥化、製炭化し、花壇等の肥料や水質浄化材として活用

（07年実績）年間約620㎥を堆肥化

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■環境保全への取組

【環境学習】－－－自然体験

豊かな人工の自然を活用し、環境教育、自然とのふれあいを体験

学習プログラムを活用して学校教育の場を提供

・大阪府下の小中高校の教員の研修会
50名（平成19年8月）
・生活科、総合的な学習の時間の受入
37校3,377人（大阪、兵庫、京都、奈良）
・森の工作教室（18回）、 自然観察ガイド（24回）、
お茶つみ・セミの観察会ほか（11回）
・ビオトープづくり

お茶つみ大会

セミの羽化観察

ほかにも農場や果樹園など体験施設を通して学習の場を提供

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■防災拠点、広域避難所として活用

《備蓄倉庫》

生活避難想定者数21万人分の食料毛布を備蓄

《支援活動》

・大阪府 - - - - - - 陸上輸送基地、後方支援活動拠点、北部広域防災拠点の臨時ヘリポート及び活動の場、ドクターヘリの緊急離着陸場

・吹田市、茨木市 - - - 広域避難場所

・吹田市消防本部 - - ヘリコプター臨時発着場

・大阪府下消防長会 - 消防応援隊集結場所

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■四季の花の見所整備

一年を通じて花を楽しむことができるスポットを整備

春

・サクラ（5,500本東大路通りソメイヨシノ550本）
・チューリップ（21種10万本）
・バラ（81種5,600本）

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■四季の花の見所整備

一年を通じて花を楽しむことができるスポットを整備

夏

・アジサイ（30品種4,500株）
・ラベンダー（9種5,000株）
・ハナショウブ（68種1万株）
・ハス（26品種1,200株）

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■四季の花の見所整備

一年を通じて花を楽しむことができるスポットを整備

秋

・コスモス（5種30万本）
・ヒガンバナ（10,000本）
・紅葉（約20種10,000本）

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■四季の花の見所整備

一年を通じて花を楽しむことができるスポットを整備

冬

・スイセン（2種30,000本）
・ウメ（110種660本）
・ツバキ（95種120本）

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■イベント・・・行楽シーズンの集客

様々な催しを企画実施し賑わう

桜まつり　2週間　約199千人

ブラスエキスポ　1日　約17千人

蛍の夕べ
9日間　夜間　約22千人

野外コンサート　5本　約100千人

マニアエキスポ　10日間　約14千人

早朝観蓮会&象鼻杯
7日間　　早朝　約6千人

ロハスフェスタ　2日間　約40千人

コスモスフェスタ　30日間　約244千人

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■多様なスポーツ施設

テニスガーデン

全36面（屋外32面、インドア4面）を備え、年間50以上の大会や教室を開催しています。

総合スポーツ広場

ナイター利用もできる人工芝のサッカー場がある総合スポーツ広場。

万博記念競技場

ガンバ大阪のホームスタジアムとなっている万博記念競技場。
プロサッカーの試合のほか、陸上競技にも利用されている第1種公認陸上競技場です。

弓道場

近的と遠的を備え、クラブ活動や個人でも利用できる弓道場。
定期的に体験教室も実施しています。

その他のスポーツ施設

- フットサルコート
- スポーツ広場
- サッカー場
（天然芝2面、人工芝2面）
- 野球場
- 運動場
- 少年野球場
- 少年球技場　　など

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■文化施設

様々な催しを企画実施し賑わう

国立民族学博物館

オセアニア、南北アメリカをはじめとする地域展示と音楽と言語の展示により、世界の諸民族と文化に関する情報を人々に提供している。

大阪日本民芸館

暮らしの中でつちかわれてきた工芸品の実用性に即した美しさを見ることができる。

大阪府立国際児童文学館

日本と外国の児童文学に関する資料を収集し、広くご利用いただいている。

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■日本万国博覧会の文化的遺産の継承

今も残る博覧会当時のものを後世に継承

施設等の継承

【日本庭園】
政府出展として日本の造園技術の粋を集めて造られた昭和の名園

心字池

【太陽の塔】岡本太郎氏
博覧会当時は内部もテーマ館の一部として公開されていた

【夢の池噴水】イサム・ノグチ氏
現代彫刻と噴水技術が一体

【大屋根モニュメント】丹下健三氏
博覧会当時は地上30mの高さに幅110m長さ210mの大屋根として太陽の塔と一体となったテーマ館の一部（空中展示場）として公開されていた

【鉄鋼館】前川國男氏
日本鉄鋼連盟の展示館

【日本民芸館】
日本の民芸品の実用性と美を紹介

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

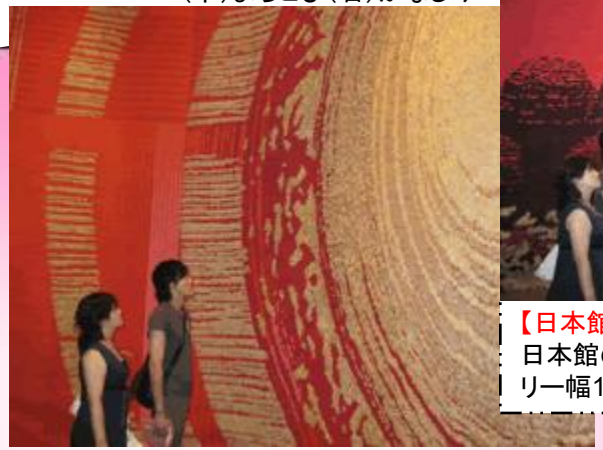
■日本万国博覧会の文化的遺産の継承

今も残る博覧会当時のものを後世に継承・・・・日本館に展示していた資料

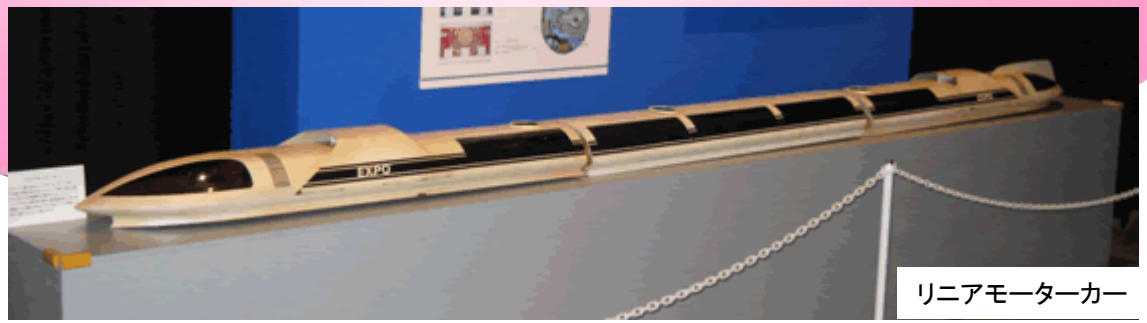
展示資料の継承

文楽人形

（下）よろこび（右）かなしみ



【日本館タペストリー】河野鷹思氏
日本館の4号館に展示していた1対のタペストリー幅19m高さ9m（原子力・原爆をモチーフ）



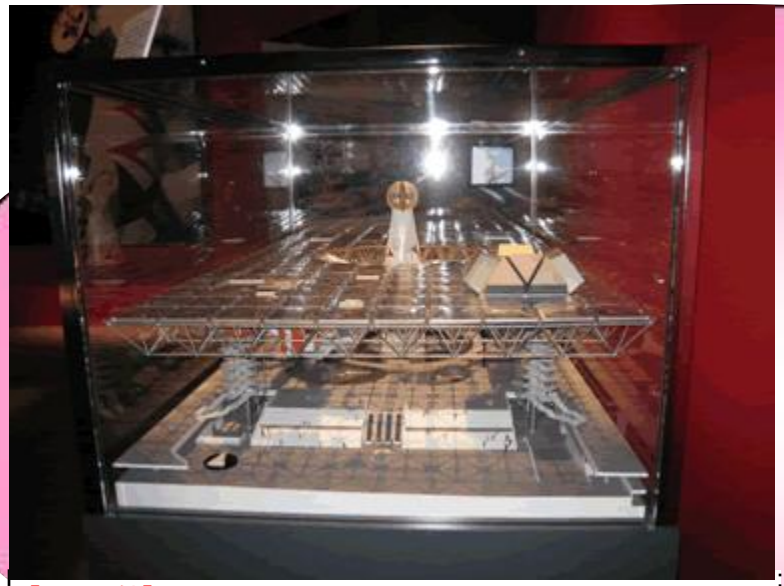
リニアモーターカー

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■日本万国博覧会の文化的遺産の継承

今も残る博覧会当時のものを後世に継承・・・・展示模型、外国館の寄贈資料等

展示資料の継承



【テーマ館】
太陽の塔と大屋根の模型

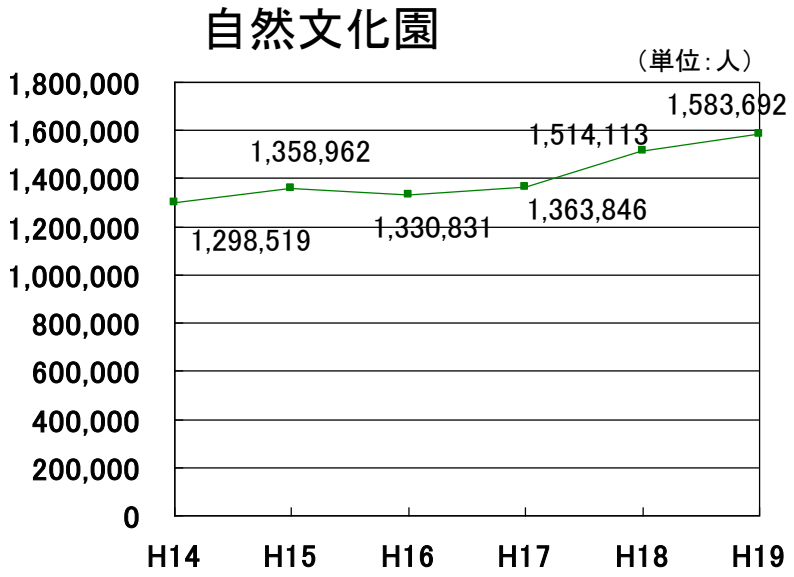
【サウジアラビア館】
カーバ神殿のタペストリー

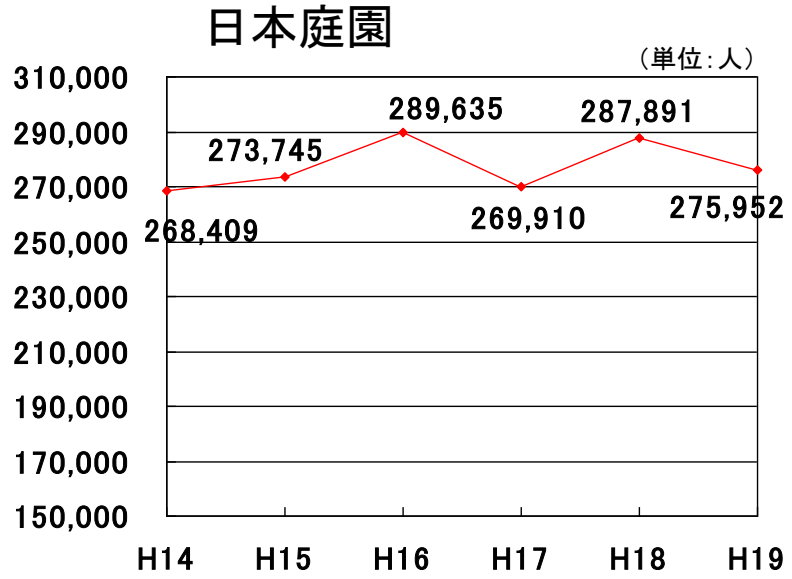
資料の活用

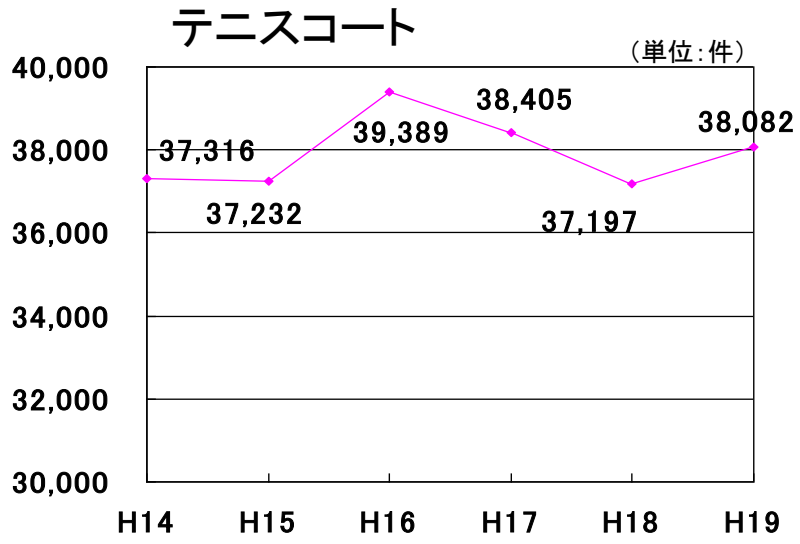
【特別展「1970年大阪万博の軌跡」】
博覧会当時の資料を活用し、大阪万博とその後の万博公園への変遷について広く紹介するため、日本の主な地域で特別展を開催している。

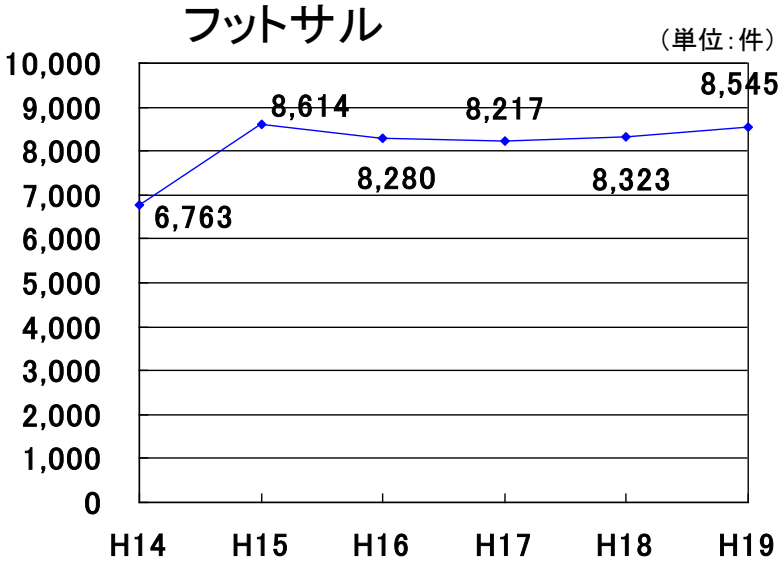
Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■主な公園施設の利用状況









Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■基金事業の概要

助成 独立行政法人日本万国博覧会記念機構
Commemorative Organization for The Japan World Exposition '70

博覧会の収益金は、国内外の協力があって成功に導かれた博覧会であることから、「人類の進歩と調和」を主題とする博覧会の成功を記念するにふさわしい内外の事業に広く、効果的に使われるべきものである。

■経過

	基金	運用益の活用
1971年	基金設立155億円 （博覧会の収益金195億円の一部） 82年　5億円を組入 88年　5億円を組入	博覧会の成功を記念するにふさわしい次の事業を実施する ○ほう賞 ○補助事業 ・国際文化交流、国際親善 ・学術、教育の国際協力 ・国際的な青少年の社会教育 ・国際的な医療保健衛生及び社会福祉 ・国際的な自然の保護その他人間環境保全 ○人類の進歩と調和に貢献する大臣承認事業
独立行政法人となる 2003年　9月	基金 約165億円	
2003年10月	基金 約185億円　基金準備金（積立金）を基金に組入	博覧会の成功を記念するにふさわしい次の事業へ助成金を交付する ○国際相互理解の促進に資する活動 ・国際文化交流、国際親善活動 ・学術、教育、医療、保健衛生及び社会福祉活動 ・自然の保護その他人間環境保全活動 ○博覧会の成功を記念するにふさわしい文化的活動 ・日本の伝統文化の伝承及び振興活動 ・芸術及び地域文化に関する活動
2008年3月	基金 約185億円	

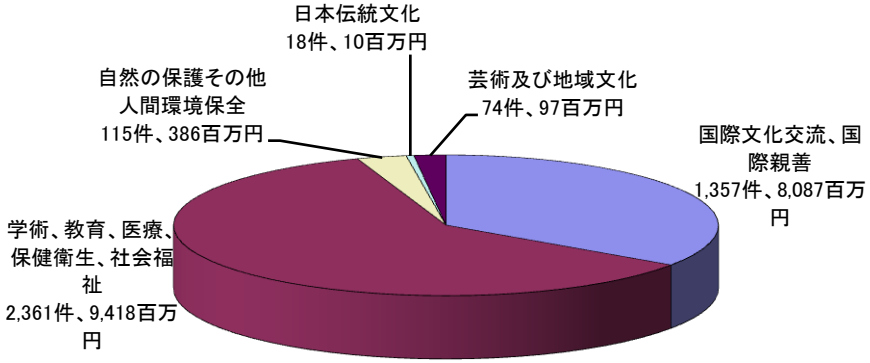
Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■基金事業の概要

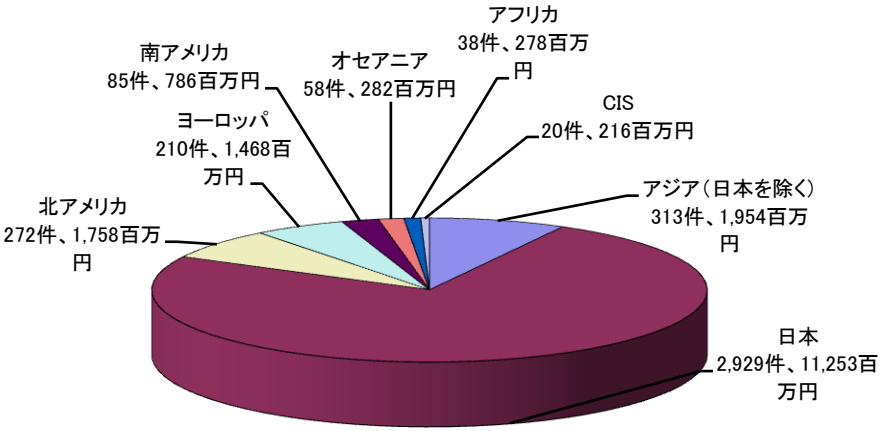
助成 独立行政法人日本万国博覧会記念機構
Commemorative Organization for The Japan World Exposition '70

■運用状況

■助成実績（1971~2008年度）



《分野別》



《地域別》

延べ3,925件　180億円

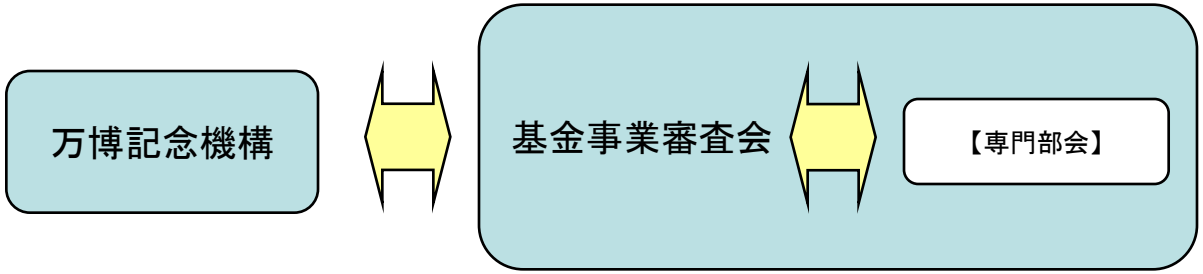
Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■基金事業の概要

助成 独立行政法人日本万国博覧会記念機構
Commemorative Organization for The Japan World Exposition '70

■公正な審査体制と効果的な助成金交付

・審査体制ーーー外部有識者による審査体制



・効果的な助成金交付　ーーー諸環境の変化を踏まえた助成テーマ
（基金事業のあり方に関する検討委員会による提言）
ーーー事後評価を実施し、評価結果は事業改善に反映
（事後評価等検討委員会による評価基準の作成）

■助成の重点化　"万博ならでは"の助成の強化

「環境」への重点化
（2008年度）

環境問題への重点化

⇒ 国内外の事業について、助成対象を環境に関係する事業に重点化しつつ、万博の成功を記念するにふさわしい諸活動を支援

「公園」への重点化
<公園事業との連携>

万博公園賑わい創出支援事業

博覧会の成功を記念するによりふさわしく万博公園において実施する事業に対し支援

公園勘定への繰入れ

公園の施設整備や低廉な入園料の維持等のため運用益の一部を充当
（1971～2007年度：総額144億円）

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■日本万国博覧会記念協会の設立

1969（S44）

1970（S45）

1971（S46）

日本万国博覧会開催

〈答申〉
S44.7 跡利用問題懇談会

S45.8 後処理委員会

S45.12 跡地利用懇談会

万博担当大臣（通産大臣）の諮問機関

大蔵大臣の諮問機関

【答申】大蔵大臣へ
全域を日本万国博覧会の開催を記念する広い意味での「緑に包まれた文化公園」とし、統一した計画に基づいて一括して利用するべきである。

S46.7 日本万国博覧会記念協会法施行

【目的】
記念協会は、人類の進歩と調和を主題として開催された日本万国博覧会の跡地を一体として保有し、これを緑に包まれた文化公園として整備し、その適切な運営を行うとともに、日本万国博覧会記念基金を設けてこれを管理する等の事業を行い、もって同博覧会の成功を記念することを目的とする。

S46.9 日本万国博覧会記念協会設立

【資本金】土地建物等47,854百万円 （内訳）国25,380百万円／府22,474百万円
【基　金】155億円 （53%） （47%）
【積立金】 40億円
【職員数】約92名　跡地整備及び記録編纂のため

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■有識者懇談会の提言

「21世紀における日本万国博覧会記念協会の事業のあり方等について」

平成13年3月28日

1　協会の組織運営

万博記念協会は、この20年間、国等からの補助金や財投などの公的援助を受けずに、独立採算で効率的な自立運営を行ってきた。

2　協会の果たすべき役割

日本万国博の基本理念（人類の進歩と調和）を内外に向けて発信すべく緑に包まれた文化公園を国民に提供するとともに、国際交流に貢献する学術や文化活動を支援していく使命がある。

3　万博記念協会の望ましいあり方

「公園」及び「基金事業」という公共性の高い事業を安定的かつ効率的に運営していくためには、現状に近い公的な運営形態を維持していくことが望ましい。

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■日本万国博覧会記念機構の設立

■設立

2003(H15).10設立 独立行政法人日本万国博覧会記念機構法に基づく

記念協会の一切の権利義務を継承

■出資金等〔2008(H20).3現在〕

【出資金】 約1,220億円(内訳)国53%／府47% ←(土地・建物等)
【基　金】 約185億円

■運営財源

独立行政法人となる前から、運営費の財政的支援を国等から一切受けず、事業収入及び資産運用からなる健全な運営を行っている。

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■第1期中期目標期間中の課題と成果

■期間　2003年10月1日～2008年3月31日（4年6ヶ月）

課　　題

業務運営の効率化、サービス・質の向上、財務内容の改善等について次の課題に取り組む。

全　　体

- 収入の増（2002年度実績1,210百万円より増）
- 経費の削減（2002年度実績より20%減）
- 組織体制の再編と業務の効率化
- 職員の適材適所の人員配置と職員能力の向上

公 園 事 業

- 公園の整備、管理業務では競争入札の範囲拡大等による経費の効率化
- 未利用地の有効利用
- 利用者ニーズの把握、入園時間の延長などのサービス向上
- 年間入園者数及びスポーツ施設利用件数の増（2002年度実績1,298千人、10,885件より増）
- 自然の森を育て、生態系を再生する壮大な課題に取り組む
- 環境保全への積極的な貢献
- 身体障害者、高齢者にやさしい公園、各種の学習機会の提供、地域の防災行政への貢献など

基 金 事 業

- 基金の運用は確実かつ有利な運用に努める
- 助成の対象、重点事項等の明確化と効果的な助成
- 交付選考手続き、基金の運用及び管理の客観性・透明性の確保など

成　　果

約9割の外部委託化を実現

人員の削減　▲11.1%（54名⇒48名）
但し、2002年度末58名から54名への4名削減を独立行政法人化に向けて先行実施

組織再編によるスリム化
（4部10課⇒2部5課1センター）

経費削減、競争的入札の拡大
（経費の削減）
2002年度実績と比較して、2007年度の総費用は、28.8%、一般管理費は22.4%の削減を達成

（競争的入札の割合）
2002年度全体の65.3%
↓
2003～2007年度平均84.2%

公園入園者数の増
（2002年度実績1,298千人⇒
2007年度実績1,584千人　22%増）

HPや助成事業を通した万博助成の情報発信

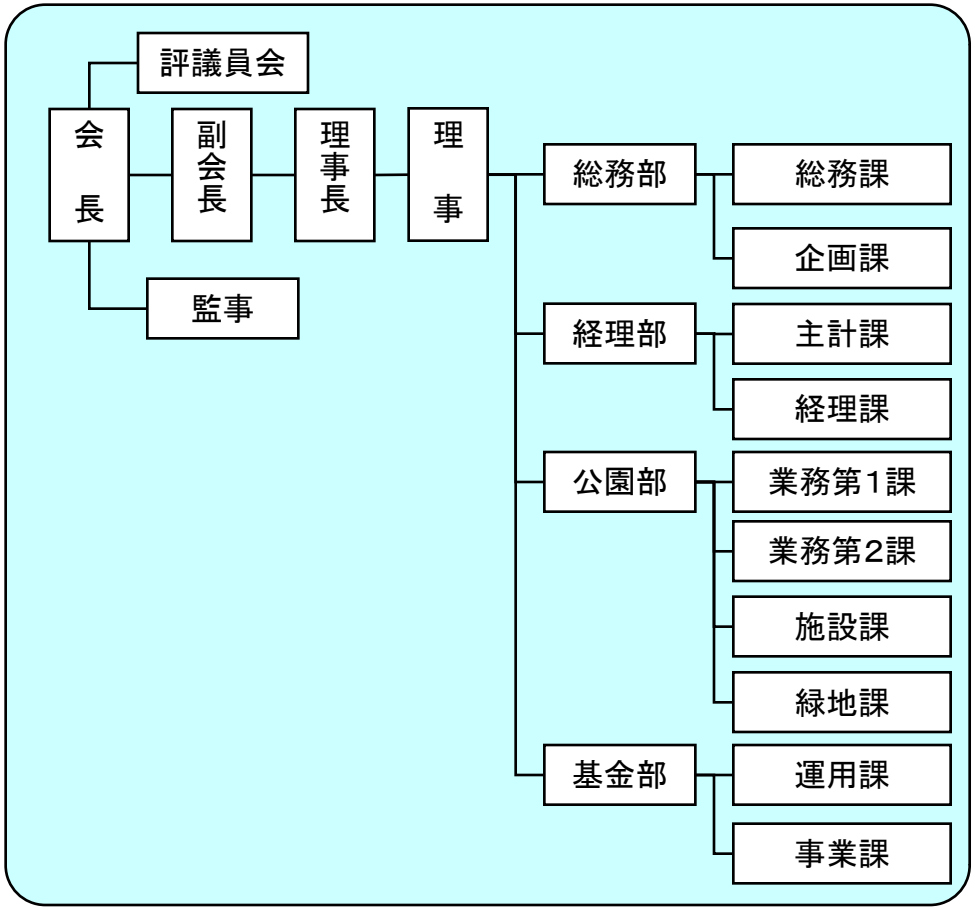
基金事業選考における外部審査体制の拡充

国庫運営費交付金等外部からの支援を受けず健全な運営を継続

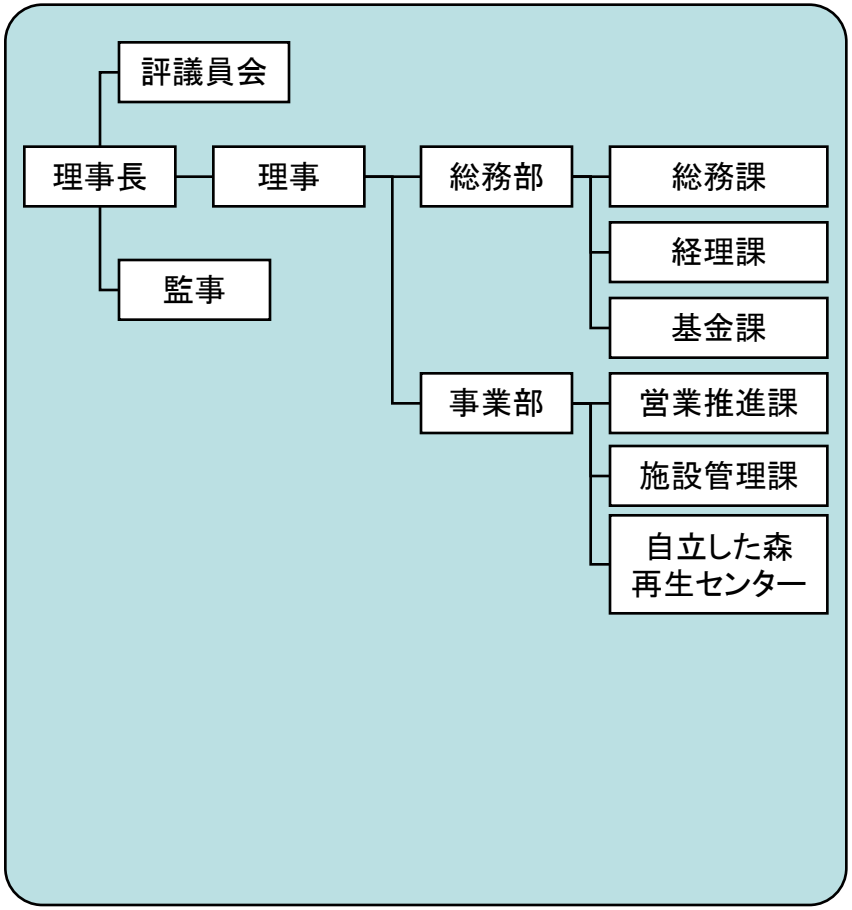
Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■スリムな組織

2003(H15). 3. 31現在



2008(H20). 4. 1現在



【組　織】　4部10課　⇒　2部5課1センター
【役　員】　9名　⇒　5名
【職　員】　54名　⇒　48名

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■財務状況

貸借対照表の推移

（法人単位）　　（単位：百万円）

	主要科目	設立時（2003.10.1）	2007年度末（2008.3.31）	増減額
資産の部	流動資産	4,960	4,718	△242
	現金及び預金	3,288	1,425	△1,863
	有価証券	1,420	3,052	1,632
	未収金	136	147	11
	その他	116	94	△22
	固定資産	144,836	144,094	△742
	有形固定資産	105,845	106,289	444
	建物	3,597	3,033	△564
	構築物等	4,688	5,569	881
	土地	97,560	97,687	127
	無形固定資産	14	33	19
	投資その他の資産	38,976	37,772	△1,204
	投資有価証券	38,974	37,772	△1,202
	その他	2	―	△2
	資　産　合　計	149,796	148,812	△984
負債・純資産の部	流動負債	1,340	774	△566
	未払金	335	597	262
	引当金	791	136	△655
	助成事業引当金	235	99	△136
	賞与引当金	47	37	△10
	施設撤去引当金	508	―	△508
	その他	214	41	△173
	固定負債	7,892	6,437	△1,455
	資産見返負債	2,509	2,747	238
	長期預り寄附金	4,454	3,190	△1,264
	引当金	483	280	△203
	退職給与引当金	483	280	△203
	その他	446	219	△227
	負　債　合　計	9,232	7,211	△2,021
	資本金	121,978	121,978	―
	政府出資金	64,692	64,692	―
	大阪府出資金	57,285	57,285	―
	基金	18,586	18,586	―
	利益剰余金	―	1,038	1,038
	積立金	―	887	887
	当期未処分利益	―	150	150
	純　資　産　合　計	140,564	141,602	1,038
負債・純資産合計		149,796	148,812	△984

（注）各欄積算と合計欄の数字については、四捨五入の関係で一致しないことがある。

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■財務状況

第1期中期目標期間の損益計算書　ー独立採算を堅持

（自2003年10月1日　至2008年3月31日）

（法人単位）　（単位：百万円）

[経常収益]			
公園事業収入		10,777	
資産見返負債戻入		1,110	
長期預り寄附金戻入		110	
基金運用収入		1,626	
財務収益		2,167	
雑益		433	
経常収益合計			16,223
[経常費用]			
公園事業費			
公園整備費	589		
運営費	7,292		
人件費	1,430		
減価償却費	2,787	12,100	
基金事業費			
助成金	504		
助成事業引当金繰入	489		
運営費	26		
人件費	234	1,253	
一般管理費			
管理費	545		
人件費	1,060		
減価償却費	199	1,805	
雑損失		34	
経常費用合計			15,192
経常利益			1,030
[臨時利益]			13
[臨時損失]			5
当期間純利益			1,038
目的積立金取崩額			55
当期間総利益			1,092

（注）各欄積算と合計欄の数字については、四捨五入の関係で一致しないことがある。

公園事業収入（10,777百万円）の内訳

（単位：千円）

公園入場料等収入	5,447,063
入場料収入	972,544
使用料収入	1,421,479
（記念競技場）	(410,970)
（野球場その他のスポーツ施設）	(386,868)
（記念館）	(360,097)
（お祭り広場、緑地広場他）	(263,544)
手数料収入	27,319
施設使用負担金収入	19,406
駐車場収入	1,127,725
運営委託事業収入	1,605,430
（民芸館）	(14,783)
（サイクルボート等）	(121,192)
（弓道場）	(15,546)
（テニスコート・フットサルコート）	(1,228,800)
（パークゴルフ）	(42,485)
（迎賓館）	(182,623)
食堂売店等納付金	165,795
イベント収入	67,669
商品売上収入	39,696
エキスポランド運営委託収入	1,281,740
財産貸付料収入	3,876,144
広告料収入	171,617

第1号勘定（公園勘定）812　⇒　½を国（215）、大阪府（191）に納付
第2号勘定（基金勘定）226　⇒　基金に組み入れ

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

将来ビジョン

これからの万博記念公園に求められる役割

「緑に包まれた文化公園」の今日的意義

万博記念公園の経過と現状

日本万国博覧会の開催及び成功
“人類の進歩と調和”

万博記念協会･万博記念機構の設立
跡地を“緑に包まれた文化公園”へ

万博記念公園基本計画の策定
“緑に包まれた文化公園”のプランとプログラム

万博記念公園整備事業の実施
基本計画に基づく公園整備の実施

樹林地の現状
未だ形成途上の“生物多様性に富んだ森”

インフラ･施設整備と施設管理運営の現状
大規模な補修･改修の必要性

園内施設とイベント等の現状
文化的活動の場、様々なプログラムの提供

来園者の動向
近隣からの来園者･リピーターの多さ等

財政状況
独立採算維持のための安定的財源確保の必要性

社会経済情勢の変化等と万博記念公園

人口減少社会と少子高齢化への対応

経済成長の鈍化と国民意識の変化への対応

社会保障給付費の増大への対応

IT技術の普及への対応

京阪神大都市圏における地球環境問題への対応

周辺環境等の変化への対応

地域社会の変化への対応

有識者懇談会からの提言
自然再生の壮大な実験の継承と、事業･運営の方向性

活性化懇談会からの提言
コスト意識の徹底･更なる増収策、事業採算性を重視した文化事業の展開のための諸方策

生物多様性に富んだ自立した森を復元する実験の場

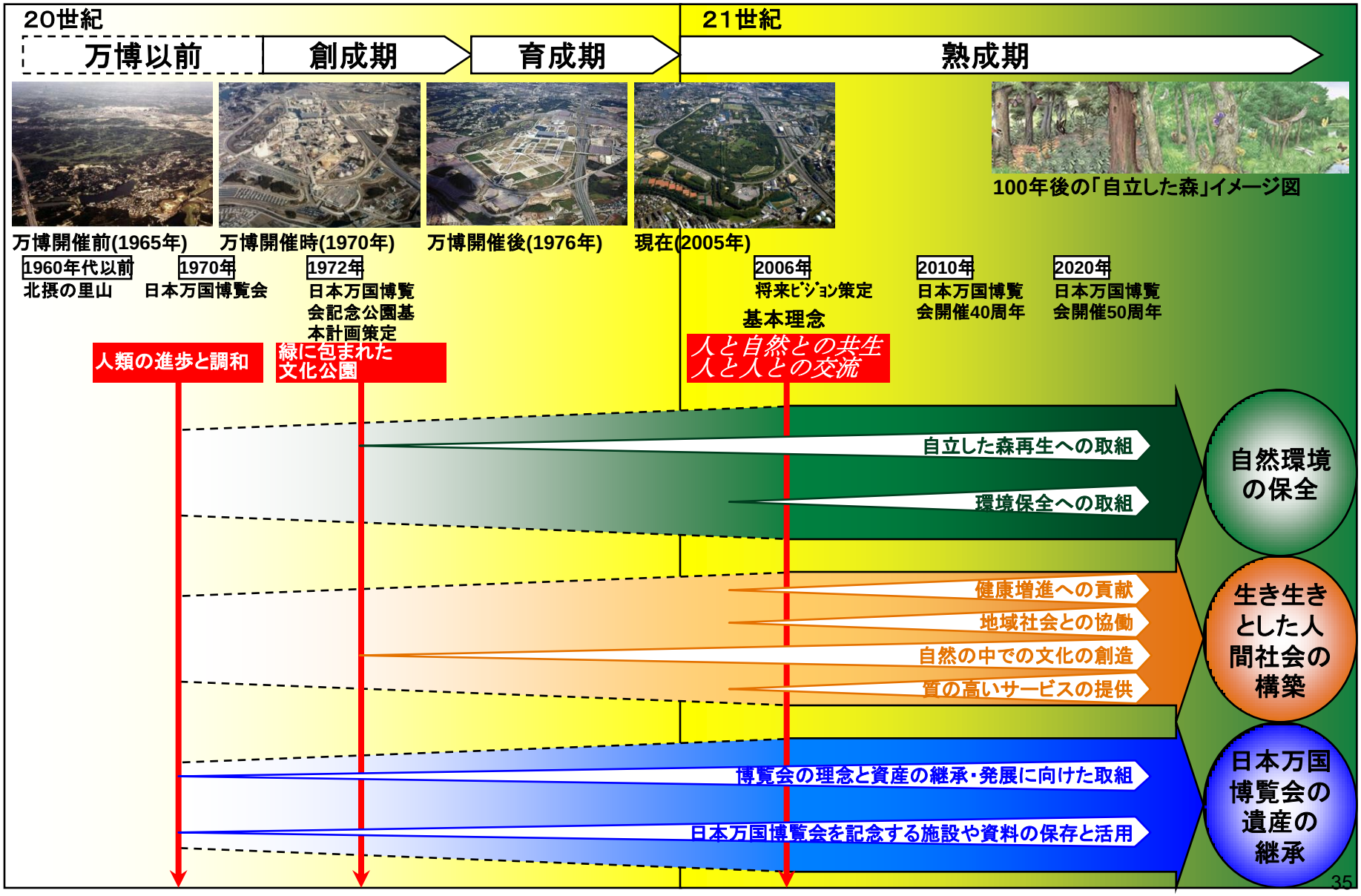
緑豊かな自然環境の中で人々がふれあえる文化の場

日本万国博覧会の遺産の継承

将来ビジョン

Copyright c 2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

これからの万博記念公園の基本理念
「人類の進歩と調和」という普遍的な博覧会テーマを受け継ぐ「緑に包まれた文化公園」として、今後、“人と自然との共生”、“人と人との交流”を基本理念として再設定する。



Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

将来ビジョン

将来ビジョンの実現に向けた具体的な取組

緑に包まれた文化公園

協働・参画

行　政
[地方公共団体]
○大阪府　○吹田市　他
[国]
○財務省　○環境省
○文化庁　○厚生労働省
○国土交通省　他

大　学
○京都大学　○大阪大学
○大阪府立大学　他

企業等
○将来ビジョンの取組をサポートしてもらえる企業・団体

公園内関係施設
○国立民族学博物館
○大阪府立国際児童文学館
○エキスポランド　他

万博機構[連携・コーディネート・協働・調整・支援]

万博記念公園

“人と自然との共生”　“人と人との交流”

自然環境の保全
- ●自立した森再生への取組
- ●環境保全への取組

生き生きとした人間社会の構築
- ●自然環境の中での文化の創造
- ●健康増進への貢献
- ●地域社会との協働
- ●質の高いサービスの提供

日本万国博覧会の遺産の継承
- ●博覧会の理念と資産の継承・発展に取り組む
- ●日本万国博覧会を記念する施設や資料の保存と活用

万博機構[連携・コーディネート・協働・調整・支援]

参加・体験・活用
○国民・市民
○NPO法人
○ボランティア団体
○学校
○企業
○各種団体

協働・参画

万博機構
[財源基盤]

万博機構
[助成]
基金の運用益の活用

健全な経営
公園事業と基金事業との不離一体（連携）

Copyright©2008～(独)日本万国博覧会記念機構 All rights reserved.

■第2期中期目標

■第2期中期目標期間　2008年4月1日～2011年3月31日（3年）

課　題　業務運営の効率化、サービス・質の向上、財務内容の改善等について次の課題に取り組む。

全　　体

- 一般管理費を2006年度と比べ4%以上削減
- 総人件費について、2006年度から5年間で5%以上となるよう引き続き削減を実施する。
- 業務の更なる効率化を図るため、民間開放の対象業務を拡大する。
- 組織体制の見直し、業務効率化と業績評価を行い、更なる問題点の把握と改善に努める。
- 勤務評価に基づく適材適所の人員配置と職員の能力向上を図る。

公 園 事 業

- 公園整備については、第1期中期目標期間の実績（2004年度から2006年度の実績3,152百万円）を下回る30億円以下とする。
- 公園の整備・管理業務に関する契約については、原則として一般競争入札等によるものとし、2007年12月に策定した「随意契約見直し計画」を着実に実施する。
- 公園の未利用地については、有効活用の観点から土地貸付等により収益の確保を行う。
- 公園利用者のニーズを把握し、質の高いサービスの提供に資する。
- 日本庭園・自然文化園の入園者数及びスポーツ施設等の利用件数については、第1期中期目標期間の実績（2004年度から2006年度の実績4,209千人、34,442件）を上回るようにする。
- 生物多様性に富んだ安定した森を形成する「自立した森再生事業」を長期的かつ計画的に推進する。
- 地球温暖化やヒートアイランド現象等の環境問題に対応し循環型社会形成に資するため、様々な調査研究を計画的に推進する。
- 豊かな地域社会の実現に向けた仕組みづくりをNPO法人等と協働して行い、資源循環型モデルパークづくりを目指す。
- 貴重な緑環境を健康増進の場として、また、地方公共団体の防災行政に貢献する広域避難場所等として提供する。
- 公園入場料等収入を第1期中期目標期間中の実績（2004年度から2006年度の実績3,809百万円）よりも増加させる。
- 公園利用者の安全確保のため、公園内の施設の管理方法、委託契約の内容等について必要な見直しを行う。

基 金 事 業

- 助成の優位性が発揮できる環境、公園に関する事業等へ重点化する。
- 助成の事後評価を実施し、助成対象の選考に的確に反映させる。
- 交付選考手続き、基金の運用及び管理の客観性・透明性の確保に努める。
- 基金事業の運営に一層の民間の知見を取り入れ効率的かつ効果的に助成金を交付する。
- 基金の運用益の公園事業への繰り入れを増やし、低廉な公園入場料の維持に努める。